

京都国際社会福祉センター 研修プログラム

Kyoto International Social Welfare Exchange Centre

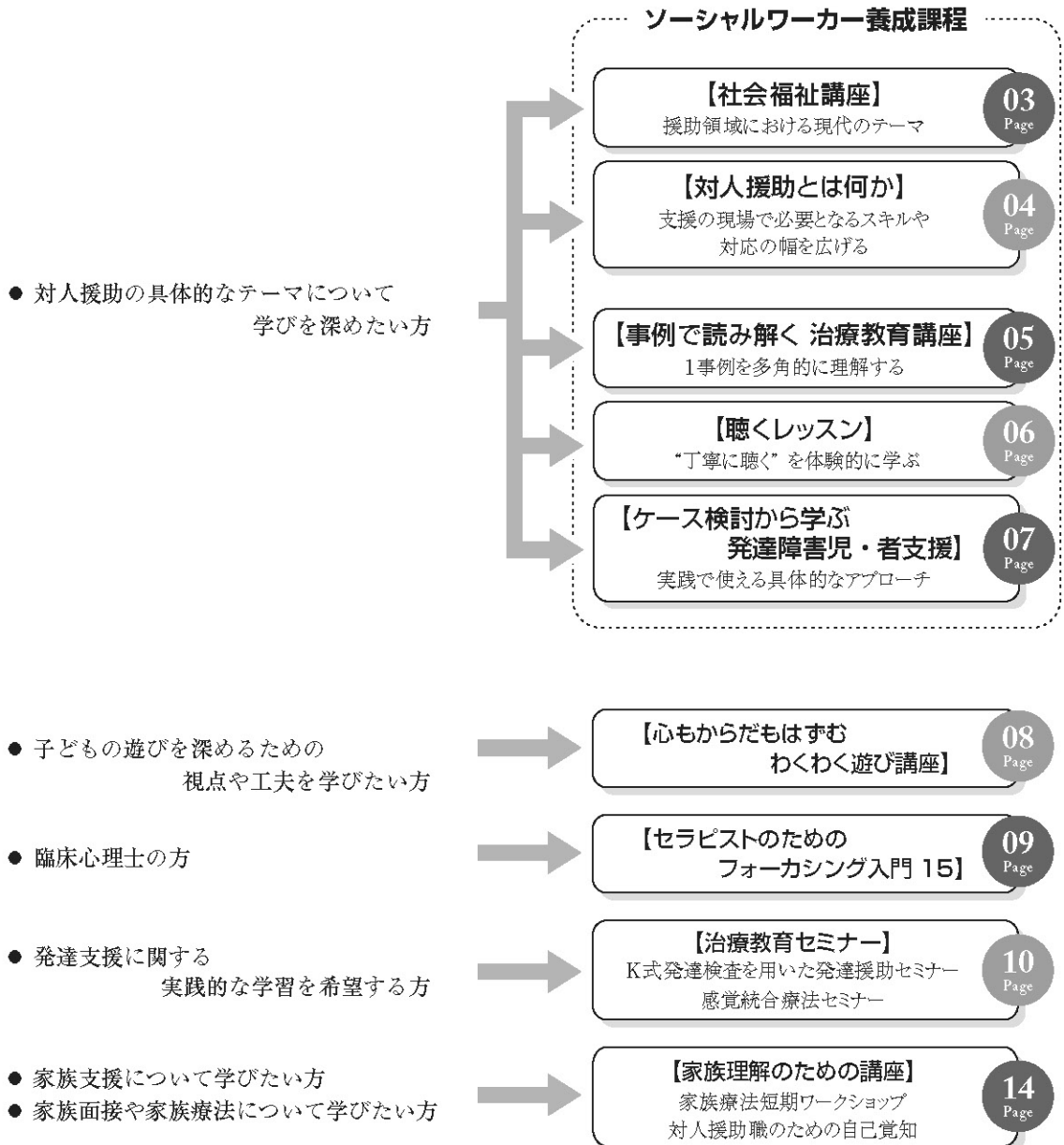
2026

お申込みはこちら
<https://www.kiswec.com>



あなたの知識と経験を生かす方法 一緒に学びませんか？

対人援助のプロフェッショナルをめざして!



※ホームページもご参照下さい。(https://www.kiswec.com 京都国際社会福祉センター 検索)

社会福祉講座では現代的な課題をテーマとして扱います。

自閉スペクトラム症の人の理解には、行動として表れる特徴だけでなく、その背景にある心理的特性や認知のあり方に目を向けることも重要です。本講座では、自閉スペクトラム症児者の心の理解を通して、日常生活や教育・福祉の場における関わりや支援についての理解を深めます。

2026年 5月 30日(土) 13:30~16:00



自閉スペクトラム症児者の心の理解と支援



自閉スペクトラム症の人は、人の心が理解「できない」のではなく、とてもユニークな理解の仕方をしている。ただ、それが障害をもたない多数派の捉え方から「ズレて」いるだけではないのか、と思うことがよくあります。それは自閉スペクトラム症の障害特性といわれるほかの特徴に対しても同じです。その人なりのユニークな捉え方の中身がわかった時、「この人はこんなふうに苦しんでいるのか」「こういうことが、嬉しいんだ」と、自閉スペクトラム症児者の思いの一端を共感的に感じるができる瞬間があります。それが支援につながることもあるのではないのでしょうか？

今回はそのようなことを皆さんと一緒に考えてみたいと思います。



講師
別府 哲

岐阜大学教育学部教授。京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。自閉症幼児における自他理解や心の理解の発達を中心に、障害児・者の発達特性の理解、ならびに教育・支援のあり方について研究を行っている。

受講資格	福祉、心理、教育をはじめ、対人援助に関心のある方。
定員	40名
受講料	無料
申込方法	ホームページの申込フォーム、もしくは18ページを参照の上、お申込み下さい。

対人援助とは何か

～私にできる対人援助を求めて～

ソーシャルワーカー養成課程

後援：京都市、京都市教育委員会

- ◎「福祉の専門的なことは学んでないけど、何か私にもできることはないか」「対人援助にかかわる活動に興味や関心があるけれど知識や技術が不足していると感じて自信がもてない」など、援助活動への入口でためらっている方や変化への第一歩を踏み出したい方。支援職として現場で働いているけれど「このままのやり方でいいのだろうか」「今のやり方に行き詰まりを感じているんだけど」など、自分の視野と対応の幅を広げたいと思っている現場の支援職の皆さんにもお勧めの講座です。
- ◎参加者の皆さんが援助場面に直面して困っていることや深めていきたいと思っていることなどについて、具体的な対応と一緒に学んでいきます。「こんな問題にはどう対応するの」「みんなはどうしているの」といった参加者からの生の声と疑問を重視してプログラムを進めていきます。
- ◎対人援助に関心がある方、地域活動、ボランティア、子育て支援、教育、福祉、医療分野におられる方など、一緒に学び話す機会を持つことで、さらに視野を広げ深めていきます。
経験の有無や資格の有無を問わず、参加できます。

土曜日 13:30～16:30 (全5回)

期日	テーマ
① 5月16日(土)	
② 6月20日(土)	・自分が困っていることや深めたいことは何か
③ 7月25日(土)	・必要な視点や知識を学ぶ
④ 8月22日(土)	・実際の場面をいくつか再現しながら、具体的な対応方法を考えてみる
⑤ 9月26日(土)	



講師
吉村 夕里

臨床心理士・
精神保健福祉士

心理職、精神保健福祉相談員、京都文教大学心理学部臨床心理学科教授を経て、現在は対人援助職の養成、精神科デイケア講師、カウンセリングや家族相談、福祉施設のスーパーバイザー等を務める。

受講資格	とくに要件はありません。どなたでも参加できます。
定員	20名(希望者少数の場合、不開講になる場合があります)
受講料	11,000円
申込方法	ホームページの申込フォーム、もしくは18ページを参照の上、お申込み下さい。
申込締切	2026年5月9日(土)

事例で読み解く治療教育講座

ソーシャルワーカー養成課程

後援：京都市、京都市教育委員会

人間の発達と障害について、事例と理論をかけ合わせながら学ぶ講座です。発達の基礎知識や支援方法に関する情報はたくさん溢れ、簡単に学べる時代になりました。しかし私たちは目の前の事例について、じっくり考え、深く理解することができているでしょうか。

本講座では、療育相談の一事例を、5つの切り口から読み解いていきます。事例を理解するために必要な理論を学ぶとともに、それを一人の人間に統合していくプロセスを体得しましょう。事例から考える力をつけたい方、持っている知識を実践につなげたい方におすすめです。

時間（いずれの回も）

15:00～17:00



第1回 6月4日（木）

生活視点からのアセスメント

川畑 隆

臨床心理士・京都先端科学大学名誉教授
・「そだちと臨床研究会」メンバー



第2回 7月14日（火）

ことばの発達と言語治療

久保田 功

言語聴覚士



第3回 8月4日（火）

コミュニケーション

麻生 武

発達心理学・奈良女子大学名誉教授



第4回 9月9日（水）

からだと感覚

高畑 脩平

作業療法士・藍野大学講師



第5回 10月15日（木）

医学的診断と社会的支援

金 泰子

小児科医

受講資格	福祉、教育、医療などの分野で、相談業務・援助業務に携わっている方。 職場単位で一席のお申し込みも可能です。
定員	15名
受講料	27,000円
申込方法	ホームページの申込フォーム、もしくは18ページを参照の上、お申込み下さい。
申込締切	2026年5月30日（土）

聴くレッスン

～対人援助職のための講座～

ソーシャルワーカー養成課程

後援：京都市、京都市教育委員会

対人援助の基本となる「相手の話を聴く」こと。私たちは、どのように相手に寄り添い、耳を傾け、相手とともに居ればよいのでしょうか。アドバイスをしたり、話を引き出すだけではない、「丁寧に聴く」ことを体験的に学んでみませんか。言葉になる前の『感じ』に触れる体験、それを表現する体験、それを聴く体験をつみ重ねていきます。

「ただ頷いて聴く」・「相手とともに居ることを体験する」・「言葉の周辺にある『感じ』に注意を向ける」とステップを踏んでいくので、初学者でも安心して学べます。さまざまなワークもしながら進めていきます。

● 受講生の声

〔療育スタッフ〕

専門的な面接技術を持たずに相談業務に就いていることが、ずっと自分の中で引っかかっており、一度しっかり学びたいと思いました。普段の仕事と並行して「聴く」機会を持つことで、自分の癖を意識したり、新しい聴き方に挑戦することができました。

〔児童相談所職員〕

毎回いろんな気づきがあり、今後の仕事の礎になりました。研修の中で学んだことを実際の面接場面でやってみたところ、「話して良かった」と言ってもらえました。少し行き詰りを感じていたケースだったのでとても嬉しかったです。

土曜日 13:30～17:00 (全5回)

- 第1回／ 6月20日 (土)
- 第2回／ 7月11日 (土)
- 第3回／ 8月22日 (土)
- 第4回／ 10月17日 (土)
- 第5回／ 11月 7日 (土)



講師
矢野 キエ

臨床心理士
公認心理師

大阪キリスト教短期大学教授、学生相談室担当。フォーカシングインスティテュート認定 CO、Children Focusing Trainer。フォーカシング指向心理療法を基盤に面接を行っている。

受講資格：心理、福祉、教育、医療などの分野で相談援助活動に携わっている方。

時間数：17.5時間

定員：15名

(希望者少数の場合、不開講になることがあります)

受講料：27,000円

申込方法：ホームページの申込フォーム、もしくは18ページを参照の上、お申込み下さい。受講料は、受講決定の連絡後に郵便振替にてご送金下さい。

申込締切：2026年6月6日(土)

ケース検討から学ぶ発達障害児・者支援

～各ライフステージにかかわる支援者による検討の機会～

ソーシャルワーカー養成課程

後援：京都市、京都市教育委員会

発達障害児・者の支援において、ライフステージを見据える視点は非常に重要です。乳幼児期の支援、学校教育、成人期の支援にかかわる専門職が集い、多様な視点から考えることで新たな気づきが生まれます。ライフステージを通じた多職種の支援者が集い検討するという機会にご興味のある方は是非ご参加ください。

- ◎受講生が実際にかかわった事例を持ち寄り、具体的に検討していきます。
- ◎支援する中で、困っていることや、難しいなと感じることはありませんか？
グループディスカッションを通して、支援者としての成長を目指しましょう！

● 受講生の声

どの事例にふれても自分の実践に結びつくことがあり、とても満足できる学びと気づきを得ることができた。

ケースを出すことで支援の在り方を見直し、得た情報を現場に持ち帰り共有することで、子どもや家庭支援について職場内で考えることができました。

土曜日 10:00～12:00 (全5回)

- 第1回／ 6月13日 (土)
- 第2回／ 7月 4日 (土)
- 第3回／ 9月 5日 (土)
- 第4回／ 10月 3日 (土)
- 第5回／ 11月 7日 (土)

昨年の受講生

ケースワーカー、相談支援員、
スクールカウンセラー、
特別支援学校教員、
特別支援教育コーディネーター



講師
全 有 耳

小児科医師

奈良教育大学教授。小児科医師の立場で保健所での母子保健活動（地域における発達障害児の支援体制整備、発達相談、ペアレント・トレーニング等）や発達障害診療に長年にわたり従事してきた。

受講資格：発達障害児者の支援に携わっている現任者。職種、資格、経験年数は不問。初学者からさらに深めたい人まで、事例をもとに学びたい方におすすです。

時間数：10時間

定員：15名
(希望者少数の場合、不開講になることがあります)

受講料：18,000円

申込方法：ホームページの申込フォーム、もしくは18ページを参照の上、お申込み下さい。受講料は、受講決定の連絡後に郵便振替にてご送金下さい。

申込締切：2026年6月6日 (土)

心もからだもはずむ わくわく遊び講座

- ◎子どもの心やからだのメッセージに寄り添い、遊びを深めるかわり方を学びます。
- ◎遊び・からだ・心の関係について理論的に学びます。
- ◎技術の習得だけでなく、わくわく心を躍らせながら遊びを考える体験をしましょう。

◇スケジュール◇

2026年8月30日(日) 10:00～16:00

「音で遊んでみよう！」

遊びの面白さは、枠組みができたりそれから解放されたり、中心があったりその周辺が盛り上がりたりして、ルールや関係性がゆらゆら揺れ動くところではないかと思えます。この講座では、それぞれが持ち寄る「音」を起点に、おしゃべりをしながら、普段感じていることを共有し、遊びを見つけていけたらと考えています。



講師
沼田 理衣

大阪公立大学大学院文学研究科准教授。音楽魔法士して、音、からだ、ことばを使って様々な人々との対話実践を行う傍ら、技術や価値観の差異を超えた音楽作りについて研究する。2005年より「音遊びの会」主宰(代表2017年まで)、2014年より「おとあそび工房」主宰(代表2021年まで)。論文に「音とことばによる対話に関する臨床音楽学研究：「おとあそび工房」における試みから」(アートミーツケア学会第13号・共著)等。

受講資格：関心がある方ならどなたでも参加できます。

時間数：5時間

定員：20名
(希望者少数の場合、不開講になることがあります)

受講料：8,000円

申込方法：ホームページの申込フォーム、もしくは18ページを参照の上、お申込み下さい。

申込締切：2026年8月1日(土)

臨床心理士有資格者の方が学びを深めるためのワークショップです。臨床心理士以外の方も参加できます。

◇スケジュール◇

2026年12月6日(日) 10:00～17:00

- ◎フォーカシングでは<からだ・ところ>に優しく触れ、心のメッセージを聴きます。
- ◎当講座では、フォーカシングの考案者であるユージン・ジェンドリン教授から直接学び、親交も深かった池見陽先生を囲んで、実際のフォーカシングに、講義、デモンストレーション、実技を通して触れていただきます。参加者のみなさんと、今、生じていることを大事に扱いながら作り上げていくワークショップの醍醐味は、本講座ならではのものです。
- ◎初めての方も、フォーカシング経験のある方も、また継続ご参加の方も、その時の自分や相手との出会いの中で、新たな体験や豊かな気づきのある時間となることでしょう。

● 受講生の声

目に見えない感覚、言葉になり難いことを探っていく内容が興味深かったです。

先生のわかりやすい説明とグループワークを通して、フォーカシングは誰にでも行えることなのだ学びました。

期待していた以上でした。理論もわかりやすく、ワークも心にゆっくりしみるような体験になりました。

※このワークショップは研修終了後に、臨床心理士の資格更新のための研修機会として認定申請を行う予定です。



講師
池見 陽

臨床心理士

臨床心理士、医学博士。フォーカシングの創始者ユージン・ジェンドリンの直弟子でフォーカシングの指導者として国際的に活動している。2019年にアメリカ・カウンセリング協会より Living Luminary (存命で輝き続ける大家) に指名され、2020年に日本人間性心理学会より学会賞を受賞。英語と日本語で多くの専門論文や著作を執筆しており、小説『パンヤンの木の下で』(木立の文庫)も発表している。

<http://www.akira-ikemi.net>

受講資格:①臨床心理士の有資格者。
②臨床心理士以外で受講を希望される方も受け付けます。当センターまでお問合せ下さい。

定 員:20名
(希望者少数の場合、不開講になることがあります)

受講料:11,000円

申込方法:ホームページの申込フォーム、もしくは18ページを参照の上、お申込み下さい。

申込締切:2026年11月14日(土)

K式発達検査を用いた発達援助セミナー

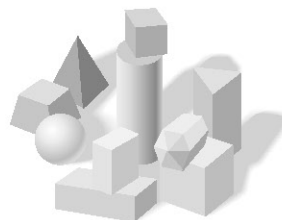
発達検査を介した発達相談について体験的に学びます。K式発達検査の実施手順は習得したけれども、実際には、検査結果をどう見立て、伝え、その後の支援に結びつけていくのでしょうか。グループディスカッションやロールプレイを通して、自分の経験を振り返り、他者の視点に触れることで、発達検査を相談に活かす力を育てていきましょう。

※本セミナーは、新版 K 式発達検査の実施手順についての研修ではありません。検査の実施法については、「新版 K 式発達検査講習会」（17 ページ）にお申込み下さい。

◇講師◇

「そだちと臨床」研究会

児童相談所などの福祉臨床に携わる現場臨床家が立ち上げた研究会で、対人援助職のための研修会やワークショップを開催している。定期刊行誌「そだちと臨床」（明石書店）の編集にも携わった。「発達相談と援助 ～新版 K 式発達検査 2001 を用いた心理臨床～」(2005 年 ミネルヴァ書房)、「子ども・家族支援に役立つ面接の技とコツ ～＜仕掛ける・さぐる・引き出す・支える・紡ぐ＞児童福祉臨床～」(2012 年 明石書店)、「発達相談と新版 K 式発達検査 ～子ども家族支援に役立つ知恵と工夫～」(2013 年 明石書店)などの著書がある。



Stage1 : 「発達相談のプロセスを学ぶ」

内 容	発達検査を用いた相談を始めた方、発達相談について改めて学びたい方を対象とした研修です。仮想事例を通して、【導入→検査の実施→助言】の流れを体験的に学びます。検査の「読み」を広げ、主訴と関連づけながらの助言を練習しましょう。
受講資格	①新版 K 式発達検査初級講習会の修了者 あるいは、 ②新版 K 式発達検査を用いた相談業務に従事している方
開 講 日	2026 年 7 月 4 日 (土) 10:00～17:00
講 師	「そだちと臨床」研究会
定 員	32 名
受 講 料	11,000 円
申込方法	ホームページの申込フォーム、もしくは 18 ページを参照の上、お申込み下さい。
申込締切	2026 年 6 月 6 日 (土)

Stage2：「子どもの見立てと保護者への助言を考える」

内 容	一歩踏み込んだ発達相談について学びたい方を対象とした研修です。仮想事例について、検査項目の関連づけや、検査場面での行動観察、背景情報の収集から、子どもをより深く見立てていきます。実現可能な具体的支援を、保護者に合わせて助言することも体験的に学びます。
受講資格	①新版 K 式発達検査初級講習会の修了者 あるいは、 ② K 式発達検査を用いた発達援助セミナー Stage1 の修了者 あるいは、 ③新版 K 式発達検査を用いた相談業務に従事している方
開 講 日	2026 年 10 月 3 日(土)・4 日(日) 10:00～16:00
講 師	「そだちと臨床」研究会
定 員	32 名
受 講 料	22,000 円
申込方法	ホームページの申込フォーム、もしくは 18 ページを参照の上、お申込み下さい。
申込締切	2026 年 9 月 5 日(土)

Stage3：発達相談グループスーパーヴィジョン(変則開講・エントリー制)

内 容	受講生が実際に携わった事例を持ち寄り、講師と参加者で検討します。一つの検査事例をゆっくり見つめ、意見交換する時間を持ちませんか。検査の前後・周辺・中身に関わる困りごと、進め方のコツや陥りやすい罠について、話し合しましょう。
受講資格	① K 式発達検査を用いた発達援助セミナー Stage1、Stage2 の修了者 あるいは、 ②新版 K 式発達検査を用いた相談業務に従事している方
開 講 日	短期集中講座(2日間) エントリー制。定員に達し次第、開講日を決定します。
講 師	「そだちと臨床」研究会
定 員	15 名程度
受 講 料	22,000 円
申込方法	ホームページの申込フォーム、もしくは 18 ページを参照の上、お申込み下さい。 受講者数が定員に達しましたら、随時開催します。受講料は受講決定の連絡後に郵便振替にてご送金下さい。
申込締切	随時受付



治療教育セミナー

発達支援に関する実践的な学習を
希望される方のための講座です

感覚統合療法セミナー

感覚統合療法の考え方と具体的な支援方法を実践を通して学習します。

ご経験や関心に合わせて、入門・基礎セミナー、実践・体験セミナー、アドバンスセミナーの3つのコースをお選びいただけます。

A) 感覚統合入門・基礎セミナー

内 容	感覚統合を学ぶ上での基礎となる「感覚」や「からだ」の特性や機能、発達について、講義や実践映像を通して学ぶ入門セミナーです。子どもの行動の背景を理解するために役立つ視点について、五感を通し、実践への活用方法を学びましょう。
受講資格	感覚統合療法に関心をお持ちの方
開 講 日	第1回 2026年6月13日(土) 10:00～16:00 第2回 2026年8月29日(土) 10:00～16:00 (同じ内容ですので、どちらかにお申し込みください)
講 師	灘 裕介
定 員	30名
受 講 料	11,000円
申込方法	ホームページの申込フォーム、もしくは18ページを参照の上、お申し込み下さい。
申込締切	第1回 2026年5月23日(土) 第2回 2026年8月1日(土)



講師
灘 裕介

フリーランスの作業療法士として活動。個別相談に限らず、巡回相談を通して、園や学校の中で、子どもの発達全般を促す遊びや集団運営なども作業療法の視点から検討している。



B) 感覚統合実践・体験セミナー

内 容	感覚統合療法の理論と具体的な実践方法について、より専門的な講義や実習による体験学習を通して学びを深めます。1日目は座学を中心に理論と実技を学び、2日目はグループでの治療的アプローチを、実習を通して学びます。
受講資格	① 相談業務・援助業務に携わる現任者の方 ② 当センターの感覚統合入門・基礎セミナーを修了された方（見込みも可）（必須）
開 講 日	2026年11月14日（土）・15日（日） 10:00～16:00
講 師	灘 裕介・小西 紀一
定 員	24名（初回参加者優先・先着順）
受 講 料	25,000円
申込方法	ホームページの申込フォーム、もしくは18ページを参照の上、お申込み下さい。
申込締切	2026年10月17日（土）



講師
小西 紀一

感覚統合療法による治療のガイドモデルとして「対象操作機能モデル」を提唱し、研究を重ねると共に、今日まで長年にわたって京都、大阪、奈良の児童福祉施設等にて、感覚統合療法によるセラピーを実践している。

C) 感覚統合アドバンスセミナー

内 容	感覚統合実践・体験セミナーの修了者を対象としたアドバンスコースです。感覚統合を現場で活かしていくために必要な視点を学び、評価・分析を行っていくために必要な実践力を養います。治療演習を通して、実践的かつ具体的に学ぶことができます。
受講資格	当センターの感覚統合実践・体験セミナーを修了された方（見込みも可）
開 講 日	2027年1月23日（土）10:00～16:00
講 師	灘 裕介・小西 紀一
定 員	24名
受 講 料	16,000円
申込方法	ホームページの申込フォーム、もしくは18ページを参照の上、お申込み下さい。
申込締切	2027年1月9日（土）



家族理解のための講座



原因探しに陥りがちな思考から離れ、家族の構造をどう見て、どんな援助が可能なのか、家族療法の考え方を元に多面的に学んでいきます。思い込みを手放し、変化のための手掛かりを見つけていきましょう。

◎短期集中で学ぶ「家族療法短期ワークショップ」「対人援助職のための自己覚知」を準備しております。



講師
団 士郎
家族心理臨床家

京都府京都児童相談所の相談判定課長、京都府精神薄弱者更生相談所（現知的障害者更生相談所）の所長補佐を経て、1998年に独立。「仕事場 D・A・N」を主宰。立命館大学客員教授。日本全国で、対人援助にかかわる人々のために家族療法の研究会や講演会を行う。



講師
早樫 一男
家族心理臨床家
臨床心理士

京都府の児童相談機関、障害者相談機関の心理職として勤務し、福知山児童相談所長、京都府立淇陽学校長（児童自立支援施設長）、宇治児童相談所長を歴任。同志社大学心理学部元教授。



講師
千葉 晃央
社会福祉士

京都光華女子大学准教授。京都国際社会福祉センターの家族療法課程の全ての研修を修了し、家族療法課程、家族面接のスタッフとして研修、支援に関わる。対人援助学会理事。



講師
坂口 伊都
社会福祉士
精神保健福祉士
保育士

東大阪大学短期大学部准教授を経て、養育里親になるため、フリーで活動。家族関係支援相談援助懇都（いと）を主宰。関西学院大学、佛教大学、京都光華女子大学などで非常勤講師を務める。

家族療法短期ワークショップ

[短期集中・グループ形式]

家族の理解を深めたい方に、短期ワークショップ形式で、家族理解のための基礎的な知識を実践を交えながら学んでいただくことができます。今年度は「家族療法ワークショップ STEP I」を2回と「家族療法ワークショップ STEP III」および「対人援助職のための自己覚知」を開催します。

A) 家族療法ワークショップ STEP I

内 容	家族の捉え方、働きかけのポイントなど、構造的家族療法の基礎的な知識を学習し、ビデオやロールプレイを用いて家族面接場面について具体的に学びます。 第1日目・家族療法の基本 ・ジェノグラム 第2日目・家族の理解とジェノグラムインタビュー ・初回面談 ・ジョイニング 第3日目・ジェノグラムと質問力 ・家族へのアプローチ (予定)
受講資格	3日間通して受講できる方で、 ①心理、福祉、教育、医療などの分野で相談援助活動に携わっている方。あるいは、 ②家族理解に関心をお持ちの大学院生。
開 講 日	第1回 2026年7月17日(金)～7月19日(日) 第2回 2027年1月9日(土)～1月11日(月・祝)
時 間	第1日目 13:00～19:00 第2日目 9:30～19:00 第3日目 9:30～15:30
講 師	団 士郎、早樫 一男、千葉 晃央、坂口 伊都
定 員	30名(希望者少数の場合、不開講になることがあります)
会 場	京都国際社会福祉センター
受 講 料	44,000円
申込方法	ホームページの申込フォーム、もしくは18ページを参照の上、お申込み下さい。
申込締切	第1回 2026年6月26日(金) 第2回 2026年12月5日(土)



B) 家族療法ワークショップ STEPⅢ

内 容	受講者から提出された事例検討を中心にスーパーヴァイズを行います。ジェノグラムや造形法、ロールプレイを通じて、グループ討議も交えながら、事例への理解を深めたり、援助のあり方や援助者自身について振り返ることをねらいとします。
受講資格	2日間通して受講できる方で、 ①「家族療法ワークショップ STEPⅠ」もしくは「家族療法ワークショップ STEPⅡ」を修了された方。あるいは、 ②当センターの「家族療法入門（通年）」もしくは「家族面接演習」を修了された方。 ※家族療法を学んだ経験があり、現任者で受講を希望される場合はお問合せ下さい。
開 講 日	2026年9月12日（土）～9月13日（日）
時 間	第1日目 10：00～18：00 第2日目 10：00～16：00
講 師	団 士郎、早樫 一男、千葉 晃央、坂口 伊都
定 員	10名程度（希望者少数の場合、不開講になることがあります）
受 講 料	44,000円
申込方法	ホームページの申込フォーム、もしくは18ページを参照の上、お申込み下さい。
申込締切	2026年8月22日（土）

C) 対人援助職のための自己覚知 ―原家族と向き合う―

[変則開講・エントリー制・グループ形式]

内 容	対人援助職が自分自身の原家族での経験を、安心できる空間の中で改めて振り返り見つめ直すことで、現在の生活に統合していくプロセスを経験します。その経験を通して、対象者や援助者自身の家族への理解を深め、対人援助職としての一層の成長・発展を目指します。
受講資格	3日間通して受講できる方で、 ①当センターの「家族療法入門（通年）」、「家族面接演習」、「家族療法ワークショップ STEPⅠ」もしくは「家族療法ワークショップ STEPⅡ」を修了された方。あるいは、 ②何らかの援助専門職に従事し、この講座に関心をお持ちの方。
開 講 日	短期集中講座（3日間） エントリー制。定員に達し次第、開講日を決定します。
講 師	団 士郎、早樫 一男、千葉 晃央、坂口 伊都
定 員	8名程度
受 講 料	60,000円
申込方法	本講座はエントリー制です。ホームページの申込フォーム、もしくは18ページを参照の上、お申込み下さい。受講者数が定員に達したら随時開催します。受講料は受講決定の連絡後に郵便振替にてご送金下さい。
申込締切	随時受付



新版K式発達検査講習会

本講習会は登録制です。受講をご希望の方は、ホームページの申込フォームより、登録の手続きを行って下さい。講習会の受講希望者として登録させていただきます。受講可能な講習会の2カ月前に、郵送にて講習会のご案内と受講申込書を送付致します。

◇初級（月1回程度開催予定）

- 目的：新版K式発達検査を使用する上で必要な知識と実施方法を学ぶ
- 対象：乳幼児の発達検査を行っている方、およびこれから行う予定のある方で、3日間受講可能な方。

◇中級（年1回 開催予定）

- 目的：新版K式発達検査の臨床での活用について学ぶ
- 対象：初級講習会の修了者、または現在新版K式発達検査を行っている方で2日間受講可能な方。

MSPA講習会

京都大学大学院の船曳康子先生を中心に開発され、2016年度から当センターで発行されているMSPA（発達障害の要支援度評価尺度：Multi-dimensional Scale for PDD and ADHD）の評定方法を学習するための講習会です。ホームページの申込フォームより、登録の手続きを行って下さい。

対象：発達障害児者の支援に携わる現任者。

定期刊行物のお知らせ

KISWECでは、定期刊行物として『発達・療育研究』と『国際社会福祉情報』の2誌を発行しています（共に年1回発行）。両誌ともにバックナンバーのリスト請求、購入及び定期購読のお問い合わせは当センターまで。

『発達・療育研究』（年刊：1部1,100円－送料別）

既成の発達理論や療育論にとらわれることなく、生きている現実の子どもたちの世界に対する理解を深めることを主旨とする発達と療養教育の論文集です。

『国際社会福祉情報』（年刊：1部880円－送料別）

毎回特定のテーマに基づいて、欧米と我が国の社会福祉の理念や現状を紹介する雑誌です。

※両誌ともに、論文の投稿や取り上げてほしいテーマ等のご希望を受け付けております。

お申込みから受講まで

申込書送付

19ページの研修申込書に必要事項を記入の上、
郵送またはFAXでお送り下さい
ホームページからのお申込みも可能です
(<https://www.kiswec.com>)

受講決定

受講の可否について決定次第電話ないし書面で連絡します
受講可能な方に受講決定書を送付します

受講料の入金

郵便振替にて送金して下さい

受 講

当日、受講決定書を持って当センターまでお越し下さい

お問合せ・申込先

〒612-8027

京都市伏見区桃山町本多上野84

京都国際社会福祉センター

TEL: (075) 612-1506 FAX: (075) 621-8264

※お問合せは、火曜日～土曜日（祝日・年末年始を除く）の9:00～17:00の間にお願ひ致します。



すべての講座において録音・録画はお断り致します。

すべての講座において、いったん振込まれた受講料は原則として当方の事情以外はお返し致しません。
研修申込書に記載された個人情報、研修の適切かつ円滑な実施の目的にのみ利用致します。

研修申込書

No. _____

講座名		希望コース	
ふりがな		年 月 日生	
氏名		歳	
住所	〒 TEL() -		
勤務先	勤務先名 住所〒	職名	
		TEL() -	
連絡先	できる限り日中連絡の とりやすい所に○印・ ご記入をお願いします。	自宅・勤務先・携帯電話 (- -)	
		その他(名前 TEL - -)	
職業	職業分野	1.医療 2.学校 3.児童福祉 4.高齢者福祉 5.知的障害児・者福祉 6.身体障害児・者福祉 7.地域福祉 8.公的扶助 9.その他()	
	職種	1.相談業務(カウンセリング等) 2.施設指導員 3.保育士 4.OT 5.ST 6.PT 7.医療・看護 8.教育一般 9.障害児教育 10.その他()	
センターとの関係	1.SW課程修了(実践現場, 対人援助, 治療教育, ケース検討) 2.家族療法課程修了 3.わくわく遊び講座 4.臨床心理士のためのワークショップ 5.K式講習会修了(初級, 中級) 6.社会福祉士・社会福祉主事課程修了 7.その他(特別プログラム, 委託研修等) 8.参加経験なし		
臨床心理士資格	有・無	登録番号	
研修を知った経緯	1.自宅に届いた研修プログラムで知った 2.職場に届いた研修プログラムで知った 3.知人に紹介された 4.インターネットで調べた 5.その他()		
希望・期待することなど			
参加費用	金額	円	送金済み・送金予定(年 月 日)
研修申込書に記載された情報は、講座の円滑な進行及び今後の研修案内の送付以外の目的には使用しません。なお、案内の送付を希望されない方は右の欄に印をつけて下さい。			<input type="checkbox"/>



京都国際社会福祉協力会の事業内容（2026年度）

京都国際社会福祉センター

研修事業

- ①社会福祉士養成課程 他、各種研修
- ②長短期研修（内地留学・自治体及び施設等）受け入れ
- ③講師派遣事業

相談事業

自閉症・情緒障害児等療育相談室「のぞみ親子相談室」
地域心理相談室「のぞみカウンセリングルーム」

研究・資料出版

- ①発達研究所・新版K式発達検査出版、頒布
- ②日本語マッカーサー乳幼児言語発達質問紙発行、頒布
- ③日本語版 ASEBA 発行、頒布
- ④MSPA（発達障害の要支援度評価尺度）発行、頒布
- ⑤「国際社会福祉情報」（年刊）出版
- ⑥「発達・療育研究」（年刊）出版
- ⑦その他、独自及び委託研究

海外研修・交流事業

- ①民間施設職員国際経験交流事業
- ②海外長期派遣研修（福祉で学位をとる者に限る）

京都のぞみ学園 就労継続支援B型事業

のぞみ竹田キャンパス 就労継続支援B型事業
生活介護事業

のぞみ工房 就労継続支援B型事業

京都市横大路学園 就労継続支援B型事業

京都市横大路福祉工場 就労継続支援A型事業

岡崎ホーム 共同生活援助
洛東チャーチホール 障害者福利厚生施設

のぞみ相談支援センター 指定特定相談支援事業

< 社会福祉法人京都国際社会福祉協力会 沿革 >

- 1970 ● スイス・チューリッヒ市から福祉関係者が来日、京都市に福祉分野における国際交流を求めたことに始まる
- 1971 ● 「スイス京都社会福祉国際交流事業に関する同意書」が京都市長及びチューリッヒ代表の間で調印
(両者は京都国際社会福祉協力会設立時、理事に就任)
- 1973 ● 社会福祉法人 京都国際社会福祉協力会 設立認可
「**京都国際社会福祉センター**」竣工
援助専門職講座 開始
「京都市のぞみ学園」開園 (知的障害福祉)
- 1977 ● 自閉症・情緒障害児等療育相談室「のぞみ親子相談室」開室
- 1980 ● K式発達検査 第1回標準化公開頒布 発達研究所
- 1985 ● 「京都市みぶ学園」(知的障害福祉)開園
- 1986 ● 「京都市みぶ障害者授産所」(身体障害者福祉)
「京都市みぶ障害者福祉会館」
- 1987 ● 「京都市横大路学園」(知的障害福祉)
- 1989 ● 社会福祉士養成課程 開講 厚生大臣認可
- 1999 ● 「京都市横大路福祉工場」
「京都国際社会福祉センター」教育棟 東館 竣工
- 2001 ● 「岡崎ホーム」(障害福祉グループホーム)
「洛東チャーチホール」竣工
K式発達検査 第2回標準化公開頒布 発達研究所
- 2006 ● 「京都のぞみ学園」(民設民営となる)
- 2010 ● 「のぞみ工房」(知的障害福祉)開所
- 2013 ● 「のぞみ相談支援センター」開所
- 2019 ● 「のぞみ竹田キャンパス」竣工
- 2020 ● K式発達検査 第3回標準化公開頒布 発達研究所
- 2022 ● 「京都のぞみ学園」改築 竣工
「京都市みぶ学園」・「京都市みぶ障害者授産所」
移設・合併 「のぞみ竹田キャンパス」に改称



施設案内(実習・研修等)

京都のぞみ学園(就労継続支援B型) のぞみ相談支援センター(指定特定相談支援)

〒612-8404 京都市伏見区深草向川原町50-1
京都のぞみ学園 TEL (075)634-8454
のぞみ相談支援センター TEL (075)644-4353



京都市横大路学園(就労継続支援B型) プラスチック系リサイクル事業

〒612-8244 京都市伏見区横大路千両松町277
TEL (075)602-9855



のぞみ竹田キャンパス (就労継続支援B型、生活介護)

〒612-8425 京都市伏見区竹田中殿町91-2
TEL (075)606-1314



京都市横大路福祉工場(就労継続支援A型) 空き缶・空き瓶等リサイクル事業

〒612-8244 京都市伏見区横大路千両松町447
TEL (075)621-7075



のぞみ工房(就労継続支援B型) 〒617-0004 京都府向日市鷄冠井町石橋13 TEL (075)933-7280



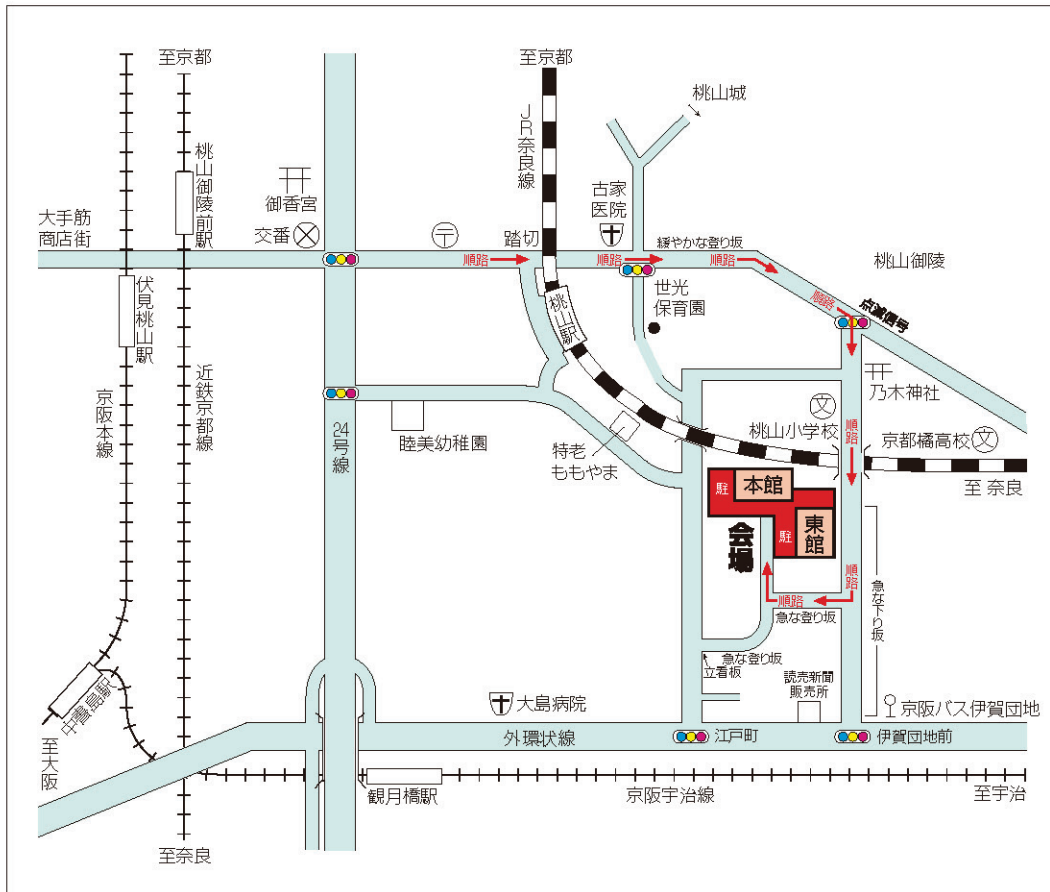
岡崎ホーム(共同生活援助) 〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町91-67 TEL (075)754-2924



のぞみ親子相談室(児童発達支援) 〒612-8027 京都市伏見区桃山町本多上野84-8 TEL (075)612-1506



会場周辺地図



付近の地理は複雑ですので順路どおりお越し下さい。

- | | | | |
|----|--------------------|----|-----------------------|
| 道順 | 京阪伏見桃山駅下車 徒歩約15分 | 目標 | 乃木神社、桃山小学校、京都橘高校 |
| | 観月橋駅下車 外環状線徒歩約15分 | | 桃山小とJR奈良線をはさんで南側、鉄筋3階 |
| | 近鉄桃山御陵前駅下車 徒歩約15分 | | |
| | JR奈良線、桃山駅下車 徒歩約10分 | | |

夜間JR桃山駅まで送迎バス有、詳しくはお問合せ下さい・駐車場有(駐車場での事故・破損などの責任は一切負いません)

研 修 会 場

京都国際社会福祉センター

〒612-8027
 京都市伏見区桃山町本多上野84
 T E L 075 (612) 1506
 F A X 075 (621) 8264
<https://www.kiswec.com>

郵便振替 01010-7-24547 社会福祉法人 京都国際社会福祉協力会宛